

「人生会議」してみませんか？

～ACPを「自分事」として身近に考えるための集い～

期日 2019年2月10日(日)

開場:13時30分 開演:14時00分

入場無料!

会場 福島県立医科大学 講堂 (960-1295 福島市光が丘1番地)

内容 第一部 基調レポート

「自分らしく生きるとは～自宅で最期を迎えることの意味～」

福島県立医科大学附属病院患者サポートセンター 看護師長 渡辺美起子

第二部 寸劇 福島東稜高校 演劇部

「看取りって何?～おばあちゃんの気持ち～」

第三部 座談会(フリートーク)

寸劇を見ての感想やご自分の体験、これからの取り組みや医療機関への要望など、何でもOK。主催者、寸劇を行った高校生、看護学生、そして来場者の皆さんで自由に語り合しましょう。



～ご案内～

先ごろ、厚生労働省が「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の日本における愛称を「人生会議」とする発表があり、「ACP」の取り組みをより一層の普及を目指すそうです。しかし、「在宅で看取る」ことへの患者の意思や家族の協力、そして医療機関との連携など、まだまだハードルが高い部分があるように感じます。

昨年9月に開催された「まるごとケアの家」市民講座にて上演された福島東稜高校演劇部による寸劇がとても好評で、高校生のこのような分野における取り組みは全国でも例がなく、各所で研修に用いたいなど、再演の要望が多数寄せられました。

そこで、今回もっと多くの方に見ていただきたいという思いと、福島県医科大学及び関係各所のご協力のもと、再演及び映像収録が決定しました。さらに今回は、もっと多くの皆さまに「自分らしく生きる」とはどういうことかを一緒に考えていただきたく、この「ACPを自分事として身近に考える集い」を開催することとなりました。ぜひ周りの方をお誘いのうえご来場ください。

主催 「ACPを自分事として身近に考えるための集い」実行委員会

お問合せ先 福島県立医科大学附属病院患者サポートセンター 渡辺 ☎024-547-1073